

日興GSグロース・マーケット・ファンド 〈愛称 グロース8〉

償還 運用報告書（全体版）

第7期（償還）（償還日 2018年6月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「日興GSグロース・マーケット・ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2018年6月22日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年9月30日から2018年6月22日までです。
運用方針	主として、新興国の中で成長が期待される国々の株式を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「グロース・マーケット・エクイティ・サブ・トラスト」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<652997>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入比率	投資信託 証券組入比率	純資産額
		税金 区分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率			
	円 銭		円		%	%	百万円
3期(2014年8月28日)	16,237		300		0.1	97.0	2,387
4期(2015年8月28日)	14,691		300	△ 7.7	0.1	97.2	1,455
5期(2016年8月29日)	12,867		300	△10.4	—	97.0	845
6期(2017年8月28日)	16,449		300	30.2	—	97.0	861
(償還時)	(償還価額)						
7期(2018年6月22日)	16,585.44		—	0.8	—	—	690

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託 証券組入比率
		騰	落	
(期首)	円 銭		%	%
2017年8月28日	16,449		—	97.0
8月末	16,609		1.0	97.0
9月末	17,141		4.2	96.8
10月末	17,707		7.6	97.0
11月末	18,404		11.9	97.2
12月末	18,637		13.3	97.0
2018年1月末	19,046		15.8	97.1
2月末	18,155		10.4	97.1
3月末	17,342		5.4	97.0
4月末	17,255		4.9	97.2
5月末	16,790		2.1	26.4
(償還時)	(償還価額)			
2018年6月22日	16,585.44		0.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2011年9月30日～2018年6月22日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日 : 10,000円
 期 末 (償還日) : 16,585円44銭 (既払分配金 (税込み) : 1,500円)
 騰 落 率 : 83.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上り騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、新興国の中で成長が期待される国々の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまいた。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・インドや中国株式市場などが上昇したこと。
- ・堅調なファンダメンタルズ (経済の基礎的条件) を背景に、新興国株式市場に資金が流入したこと。
- ・中国のインターネット関連会社、韓国の半導体メーカーなどの株価が上昇したこと。
- ・韓国ウォンや香港ドルが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・ブラジルの鉱山会社、中国の映写システム会社などの株価が下落したこと。
- ・トルコリラやブラジルレアルが対円で下落したこと。

投資環境

(株式市況)

期間中、株式市場は大幅に上昇しました。

期間の初めは、欧州債務問題の影響や中国の景気減速に対する懸念などから、リスク回避志向により株式市場は弱含む局面もありましたが、堅調な米国経済、欧州や中国をはじめ多くの国における利下げの実施および欧州債務問題対策の進展などを好感して上昇しました。加えて、中国をはじめ多くの国による金融緩和が継続されるなか、米国を中心に世界経済が改善を示したことなども好材料視されました。

2015年の年央以降、中国人民銀行による中国人民元の切り下げなどを受けて中国株式市場が大きく下落したことや、米国の利上げ観測が高まり新興国からの資金流出や通貨安が懸念されたこと、原油価格が下落したことなどを背景に、新興国株式市場は下落しました。その後、原油価格などコモディティ価格が回復したことや、MSCIによる中国A株の指数組入れ決定、2017年6月にイエレンFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が米国の利上げペースが緩やかになる見通しを示したことなどが支援材料となり、上昇に転じました。

期間末にかけては、米国の良好な経済指標を背景に長期金利が急上昇したことや、パウエルFRB議長の発言により、今後利上げペースが加速するとの観測が広がり一時的に弱含む局面があったものの、グローバルでの景気回復や、良好な企業決算、原油価格の上昇などを背景に堅調に推移しました。

(国内短期金利市況)

期間の初めから2013年1月にかけては、日銀がデフレ脱却に向けて金融緩和の強化を実施したことなどを背景に、無担保コール翌日物金利は概ね0.1%を挟んだ水準で、国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は概ね0.1%を上回る水準で推移しました。

2月から2015年12月にかけては、2013年3月に黒田日銀総裁が就任後、4月に「量的・質的金融緩和」を導入したことなどから、無担保コール翌日物金利は概ね0.1%を下回る水準で推移しました。その間、TB3ヵ月物金利は、2014年9月にはマイナス金利まで低下し、その後も概ね0.0%を挟んだ水準で推移しました。

2016年1月以降は、日銀によるマイナス金利政策の導入を受けて、無担保コール翌日物金利は-0.08%近辺まで低下して期間末を迎えました。TB3ヵ月物金利は、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺にて期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中の新興国通貨は、円に対してまちまちの展開となりました。グロース・マーケット通貨については、韓国ウォンや香港ドルなどが比較的大きく上昇した一方で、トルコリラやブラジルレアルは下落しました。韓国ウォンは、各国中央銀行の緩和策により、同国への資金流入が目立ったことや、貿易統計をはじめとする経済指標の改善が同通貨の追い風となりました。トルコリラについては、同国の軍の一部によるクーデター未遂事件が発生したほか、シリア情勢を巡る懸念を背景に下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「グロース・マーケット・エクイティ・サブ・トラスト」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

当ファンドは2011年9月30日の設定以来、約6年8ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2018年6月22日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(グロース・マーケット・エクイティ・サブ・トラスト)

グロース・マーケット、特にBRICs（ブラジル、ロシア、インド、中国）諸国における一人当たり所得の増加は、グロース・マーケットの経済発展をけん引する重要な要素であると考え、グロース・マーケットの強い内需の恩恵を受ける銘柄を選好しました。国別では、中国のウエイトを相対的に高めとしました。業種別では内需拡大の恩恵が見込まれる金融セクターや、堅調な業績が見込まれる情報技術（IT）セクターなどを中心に投資を行ないました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は1,500円（税込み）となりました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○1万口当たりの費用明細

(2017年8月29日～2018年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	162	0.917	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(42)	(0.238)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(116)	(0.652)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.026)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	15	0.083	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(14)	(0.077)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	177	1.000	
期中の平均基準価額は、17,708円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2017年8月29日～2018年6月22日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	グロース・マーケット・エクイティ・サブ・トラスト	千口 10,682	千円 21,638	千口 442,949	千円 882,414

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 100	千円 101	千口 932	千円 935

○利害関係人との取引状況等

(2017年8月29日～2018年6月22日)

利害関係人との取引状況

<日興GSグロス・マーケット・ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	21	21	100.0	882	882	100.0
金銭信託	3,861	3,861	100.0	3,861	3,861	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	6,400	6,400	100.0	6,400	6,400	100.0

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年8月29日～2018年6月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年8月29日～2018年6月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年6月22日現在)

2018年6月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
グロス・マーケット・エクイティ・サブ・トラスト			千口 432,266
合	計		432,266

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
マネー・アカウント・マザーファンド			千口 831

○投資信託財産の構成

(2018年6月22日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 694,320	% 100.0
投資信託財産総額	694,320	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年6月22日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	694,320,154
コール・ローン等	694,320,154
(B) 負債	3,586,698
未払信託報酬	2,874,062
未払利息	1,683
その他未払費用	710,953
(C) 純資産総額(A-B)	690,733,456
元本	416,469,795
償還差益金	274,263,661
(D) 受益権総口数	416,469,795口
1万口当たり償還価額(C/D)	16,585円44銭

(注) 当ファンドの期首元本額は523,442,846円、期中追加設定元本額は16,935,690円、期中一部解約元本額は123,908,741円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.658544円です。

○損益の状況 (2017年8月29日～2018年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 21,483
受取利息	335
支払利息	△ 21,818
(B) 有価証券売買損益	12,761,059
売買益	26,744,984
売買損	△ 13,983,925
(C) 信託報酬等	△ 8,820,815
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,918,761
(E) 前期繰越損益金	160,536,009
(F) 追加信託差損益金	109,808,891
(配当等相当額)	(27,513,194)
(売買損益相当額)	(82,295,697)
償還差益金(D+E+F)	274,263,661

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2011年9月30日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年6月22日			資産総額	694,320,154円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	3,586,698円	
受益権口数	45,995,902,970口	416,469,795口	△45,579,433,175口	純資産総額	690,733,456円	
元本額	45,995,902,970円	416,469,795円	△45,579,433,175円	受益権口数	416,469,795口	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	12,497,240,228円	13,291,746,598円	10,636円	0円	0%	
第2期	3,656,610,238	4,634,244,790	12,674	300	3	
第3期	1,470,477,496	2,387,681,447	16,237	300	3	
第4期	990,648,390	1,455,312,617	14,691	300	3	
第5期	657,085,198	845,494,789	12,867	300	3	
第6期	523,442,846	861,019,601	16,449	300	3	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	16,585円44銭
----------------	------------

○お知らせ

約款変更について

2017年8月29日から2018年6月22日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。